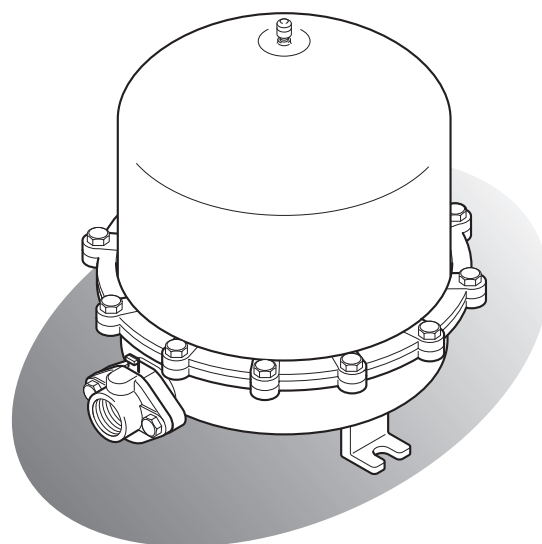


浄水器

アクアファインMRK2-25

取扱説明書

このたびは、浄水器をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



目 次

はじめに	安全上のご注意……………	2
	はじめにご確認ください……………	3
	据付前の確認：使用できる環境・条件……………	4
	各部の名前……………	5
準備	据付・配管のしかた……………	6
	使用前の準備……………	8
使い方	使用時のご注意……………	9
メンテナンス	点検・消耗部品の交換……………	9
	故障かな？と思ったら……………	12
	製品仕様……………	13




安全上のご注意

本書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。




また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な事項ですので、必ず守ってください。

「危険」、「警告」、「注意」が示す危険度の内容

	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じると想定される内容。
	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
	人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容。

絵表示の意味

 気をつけなければならない内容を表しています。たとえば△は「感電注意」を示しています。	 してはいけない行為を表しています。たとえば⊘は「ぬれ手禁止」を示しています。	 必ずしなければならない行為を表しています。たとえばⓈは「強制」を示しています。
--	--	---

⚠ 危険

仕様について



禁止

最高使用圧力を超える圧力では絶対使用しないでください。
重大事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告

製品仕様について



禁止

決められた製品仕様以外では使用しないでください。感電・火災、漏水などの原因になります。

搬入、据付について



禁止

水道管に直接配管しないでください。水道法により禁止されています。また、水が逆流して水道水が汚染される恐れがあります。

試運転、運転について



ぬれ手禁止

浄水器を接続した給水ポンプの電源を切るか、または電源プラグを抜くときは、絶対にぬれた手で行わないでください。感電・漏電によりけがをする恐れがあります。

点検、修理について



お手入れの際は、必ず浄水器を接続した給水ポンプの電源を切るか、電源プラグを抜いてください。浄水器より漏水し、感電・漏電によりけがをする恐れがあります。

⚠️ 注意

製品仕様について

❗ 本製品は、井戸水に含まれる濁り、残留塩素、におい、PFASを除去する装置であり通水後の水の飲用可能を保証するものではありません。飲用に使用する場合、最寄りの保健所などにご相談いただき、その指導に従ってください。有害物質の含まれている水などを飲用に使用した場合、健康を損なう恐れがあります。

❗ 定期的な水質検査の実施及びフィルタの交換を行ってください。水質が悪化していると、除去不良（フィルタ劣化含む）となる恐れがあります。

搬入、据付について

❗ 据付は取扱説明書に従って確実にこなしてください。据付が不完全な場合、性能不良の原因になります。

❗ 漏水しても排水できる場所に据え付けてください。フィルタ交換時に漏水する場合があります、付近が水浸しになる恐れがあります。

❗ 配管の締め付け部は、確実に締めてください。水漏れの原因になります。

試運転、運転について

❗ 毎日の使いはじめには、必ず本体内部および2次側配管の溜まり水を排水してからお使いください。飲用用途の場合は除菌能力がないため、飲むと体調を損なう恐れがあります。

❌ 除菌器と組み合わせてお使いになる場合、浄水器を通した水を養魚用に使わないでください。残留塩素がわずかに残っている場合があります、魚を傷める恐れがあります。

❌ 浄水器を通した水は、くみ置きしないでください。飲用用途の場合は除菌能力がないため、飲むと体調を損なう恐れがあります。

❌ 温水（40℃以上）を通水しないでください。故障の原因になります。

❗ 据付後および配管後、またはフィルタ交換後に浄水器を使用するときは、浄水器内の空気を確実に排気してください。浄水性能を十分発揮できない恐れがあります。

点検、修理について

❌ 修理作業員以外の方は、絶対にフィルタ交換以外の分解・修理は行わないでください。故障の原因になります。

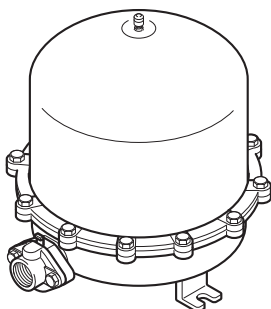
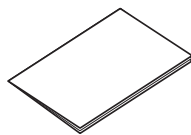
注記

- 本製品は、日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
- 適用範囲外での使用、注意書きなどの不遵守、不当な修理・改造、天災地変に起因するもの、設置環境（電源異常・異物・砂など）によるもの、法令・省令またはそれに準じる基準などに不適合のもの、不慮・故意による故障・損傷のもの、消耗部品の交換、転売による不具合などは保証対象外となる場合があります。
- ご購入の際は、ご購入年月日、販売店名などの所定事項が記入された『保証書』をお受け取りになり、大切に保存してください。再発行は致しませんので紛失しないようにしてください。
- 弊社にお問い合わせの際は、『形式』及び『製造番号』をご連絡ください。
- 不要な部品及び梱包材などの廃棄方法については、各自治体にご確認ください。

はじめにご確認ください

製品がお手元に届きましたら、下記項目を調べ、不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご連絡ください。

- ・ ご注文通りの製品か、銘板を見てご確認ください。
- ・ 輸送中に破損した箇所や、ボルト、ナットなどのゆるみはないか、ご確認ください。ゆるみがある場合は増し締めをしてください。
- ・ 梱包箱の中に右記の内容物が全て入っているか、ご確認ください。

浄水器本体	取扱説明書
	

据付前の確認：使用できる環境・条件

使用する水源(井戸等)の水質により本製品では除去できない成分を含む可能性があるため、水質検査を実施し除去可能か確認してください。

⚠危険



最高使用圧力を超える圧力では絶対使用しないでください。重大事故につながる恐れがあります。



本製品は、井戸水に含まれる濁り、残留塩素、におい、PFAS を除去する装置であり通水後の水の飲用可能を保証するものではありません。飲用に使用する場合は、最寄りの保健所などにご相談いただき、その指導に従ってください。有害物質の含まれている水などを飲用に使用した場合、健康を損なう恐れがあります。



井戸水は水質が変化する場合がありますので、定期的に水質検査を行ってください。



温水（40℃以上）を通水しないでください。故障の原因になります。

＜本製品で除去できる成分＞

水質項目	成 分
濁り	水中に浮遊する粘土粒子または有機性物質
残留塩素(カルキ)	塩素臭(カルキ臭)の原因になる成分
におい	水に含まれる粘土粒子または有機性物質
PFAS(PFOS、PFOA)	主に炭素とフッ素からなる化学物質で、分解されにくい成分

＜本製品で除去できない主な成分＞

成 分	備 考
鉄分	井戸水の中に溶け込んでいて、洗濯物を黄色くしたりします。 また空気に触れると赤水の原因になります。
マンガン	原水は無色透明ですが放置すると褐色の沈殿物を生じ、やがて黒褐色に変化し、流し台、タイルを黒くします。
硬度	軟水に変えることはできません。
塩分	塩分を除去して海水を真水にすることはできません。

細菌が含まれている場合は、弊社製除菌器を組み合わせでご使用されることをお奨めします。

鉄分やマンガンが含まれている場合は、弊社製除鉄槽または除鉄除マンガン槽とを組み合わせでご使用されることをお奨めします。

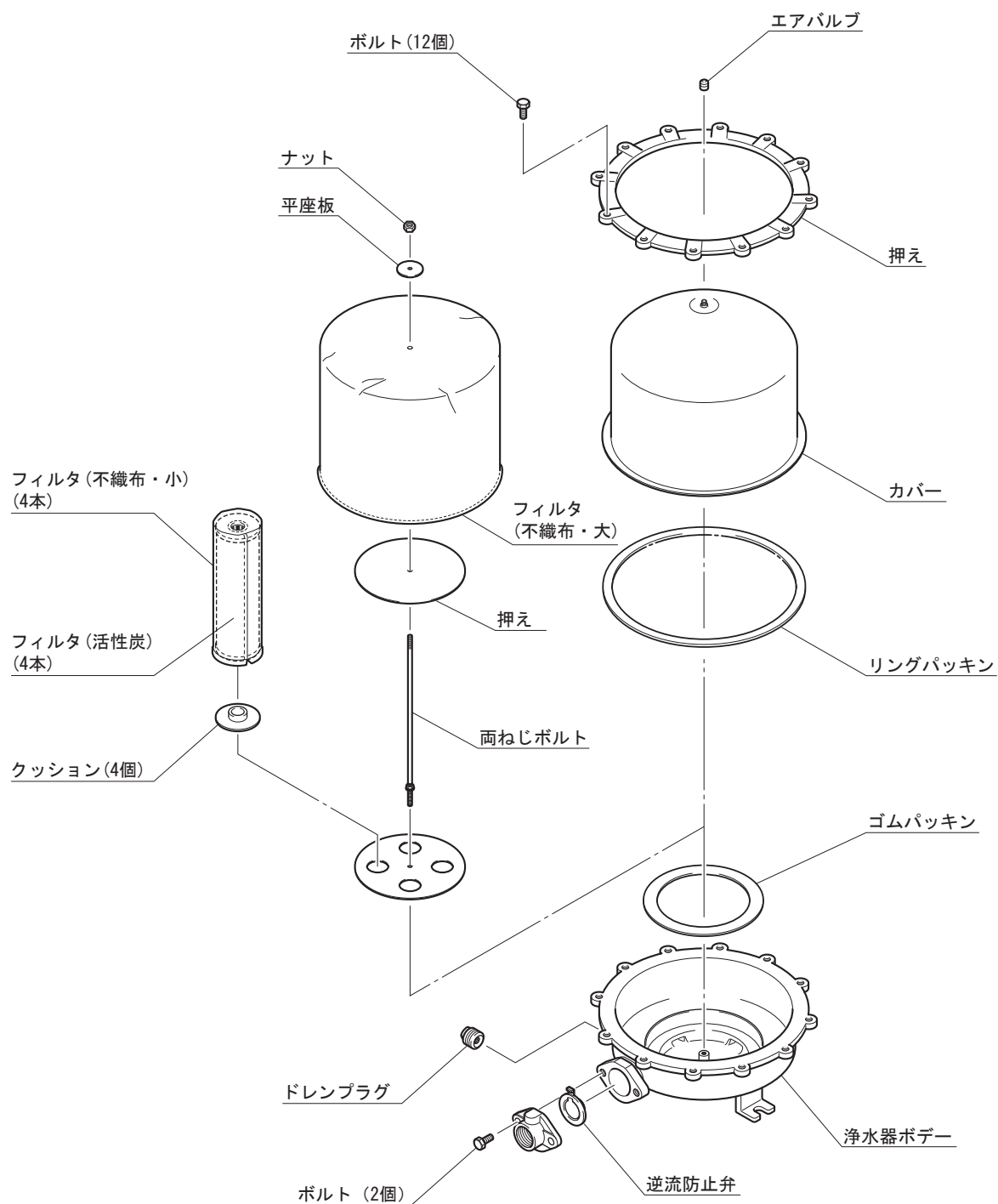
水質検査の実施について

下記の注意事項をお読みの上、保健所等に水質検査を依頼してください。

＜保健所に水質検査をご依頼される場合の注意事項＞

- (1) 水質検査（化学試験・細菌試験）は、原水と処理水を同時に検査することをお奨めします。
- (2) 環境省令の「水質基準項目」に準拠した水質検査を実施し、水質基準の適合をご確認されることを推奨します。
- (3) 細菌試験をされる場合
 - ・細菌試験の採水容器は保健所で除菌したものをご使用ください。
 - ・細菌が付着しないように、容器や栓の内側には、手などを触れないでください。
 - ・容器が汚染されないように、短時間で採水し、すぐに保健所に依頼してください。
- (4) その他、水質検査方法については、最寄りの保健所にご相談ください。

各部の名前



はじめに

据付・配管のしかた

据付

⚠危険



禁止

最高使用圧力を超える圧力では絶対使用しないでください。重大事故につながる恐れがあります。

⚠注意

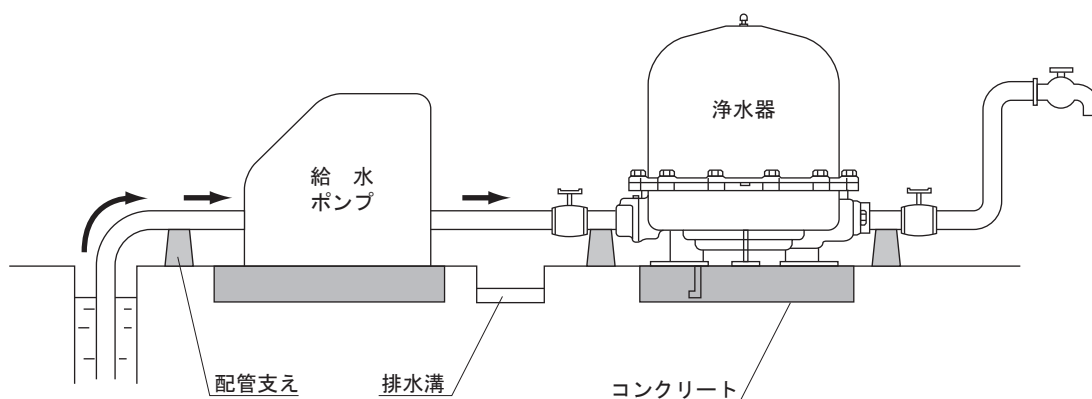


漏水しても排水できる場所に据え付けてください。フィルタ交換時に漏水する場合があります、付近が水浸しになる恐れがあります。



据付前に必ず井戸の清掃、配管内外部に付着した砂などの異物を除去してください。砂などの異物を吸込むと砂嚙みなどにより揚水できない恐れがあります。

< 据付例（井戸水を使用する場合） >



据付には以下の場所をお選びください。

- ・台風などによる風雨に直接影響を受けない場所
- ・風通しがよく、直射日光の当たらない涼しい場所
- ・漏水した場合に排水が容易にできる場所（排水溝の近く等）

以下の事項に従って据え付けてください。

- ・コンクリートまたはブロックで基礎をつくり、水平に設置してボルトで固定してください。基礎用ボルトは付属しておりません。市販品をご使用ください。
- ・点検・修理が容易にできるスペースを確保してください。
- ・浄水器を給水ポンプの吐き出し側に据え付けてください。
- ・配管の重量によって給水ポンプと浄水器に負荷がかからないように、配管支えを設置してください。

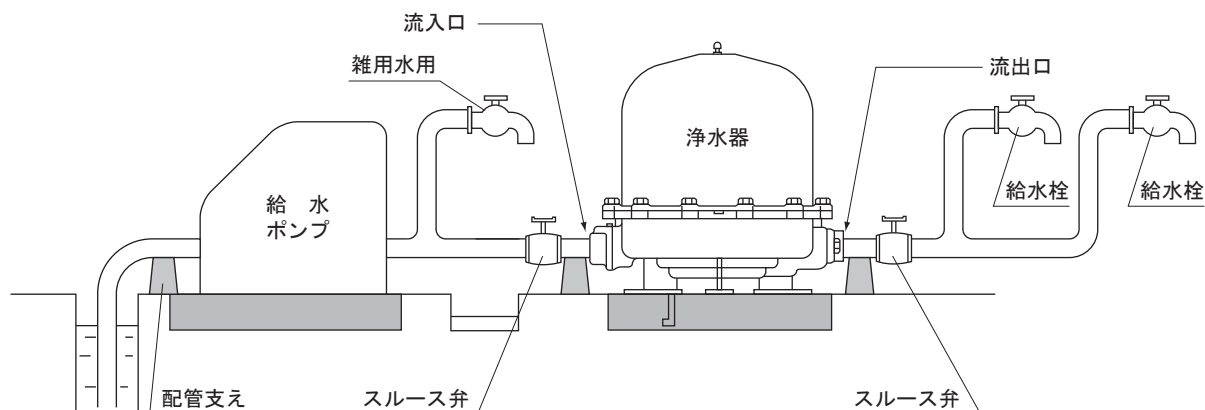
配管

⚠注意



配管のネジ部にはシーリング剤を使用して、水漏れのないように確実に施工してください。確実に施工できていないと水漏れの原因になります。

<配管例（井戸水を使用する場合）>



- ・ 流入口、流出口をお確かめのうえ、配管してください。
- ・ メンテナンス用に、流入口側と流出口側にそれぞれスルース弁を取り付けてください。
- ・ 接続配管には鉄管を使用しないでください。赤さび発生の原因になります。
- ・ 散水用などの雑用水は別配管にしてください。

防寒対策

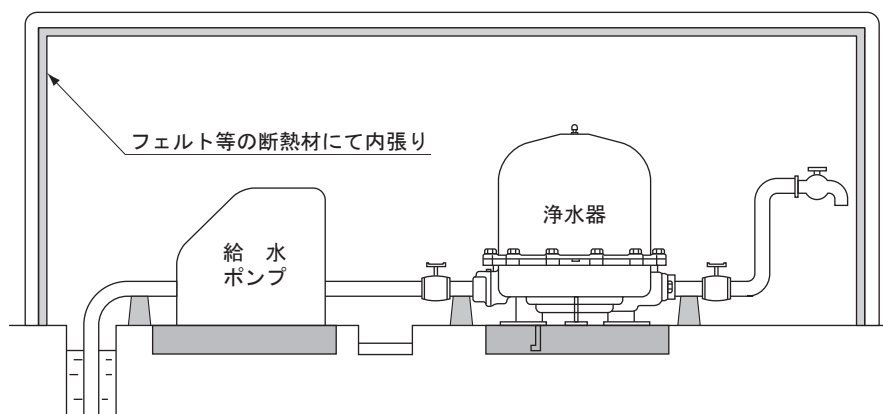
⚠注意



冬期などで凍結の恐れがある場合は、保温材・ヒータ取付などにより凍結防止処置を行ってください。凍結による破損事故につながる恐れがあります。

- ・ 寒い地域はもちろんですが、暖かい地域でも思いがけない寒波によって配管などが凍結し破損することがあります。十分な防寒対策を施してください。
- ・ 特に寒い地域では、防寒小屋などを作って、その中に設置してください。

<設置例（防寒小屋に据付けた場合）>



使用前の準備

⚠注意



据付および配管後、またはフィルタ交換後に浄水器を使用するときは、浄水器内の空気を確実に排気してください。浄水性能を十分発揮できない恐れがあります。

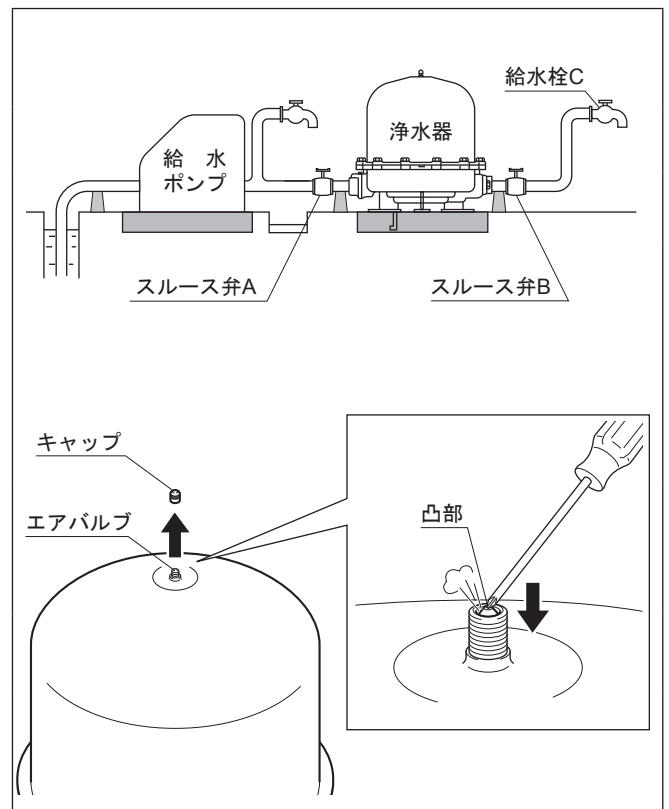
以下の手順に従って、浄水器内の排気および試運転を行なってください。

1 浄水器の排気

- 1 浄水器に接続したスルース弁、給水栓を全て閉じます。
- 2 給水ポンプの電源を入れます。
- 3 給水ポンプが自動的に停止するのを確認します。
- 4 スルース弁 A をゆっくり全開し、配管接続部より漏水のないことを確認します。
- 5 エアバルブのキャップを取り外して、凸部を指先またはプラスドライバーの先などで押し、浄水器内の空気を抜きます。
- 6 エアバルブから水が出てきたら、キャップを元通りに取り付けます。

2 試運転

- 7 スルース弁 B を全開にしてから、給水栓 C をゆっくり開きます。
- 8 給水栓 C から水が出はじめたら、給水栓 C を全開にします。



使用時のご注意

⚠注意



毎日の使いはじめには、必ず本体内部および2次側配管の溜まり水を排水してからお使いください。飲用用途の場合は除菌能力がないため、飲むと体調を損なう恐れがあります。



禁止

浄水器を通した水は、くみ置きしないでください。飲用用途の場合は除菌能力がないため、飲むと体調を損なう恐れがあります。

毎日の使いはじめ時に、給水栓から浄水器内部および2次側配管の溜まり水を排水してください。

排水量の目安

- 1) 毎日のお使いになる前に
「20L + 2次側配管滞留量」以上排水してください。
- 2) 2日間以上使わない場合
「40L + 2次側配管滞留量」以上排水してください。

点検・消耗部品の交換

⚠警告



お手入れの際は、必ず接続している給水ポンプの電源を切り、電気がきていないことを確認してください。浄水器から漏水すると、感電によりけがをする恐れがあります。



浄水器を接続した給水ポンプが動かなくなったり異常（ケーブル破れ、コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。

⚠注意



凍結の恐れがある場合は、必ず浄水器内の水を抜いてください。凍結により浄水器内の配管などが凍結し破損することがあります。

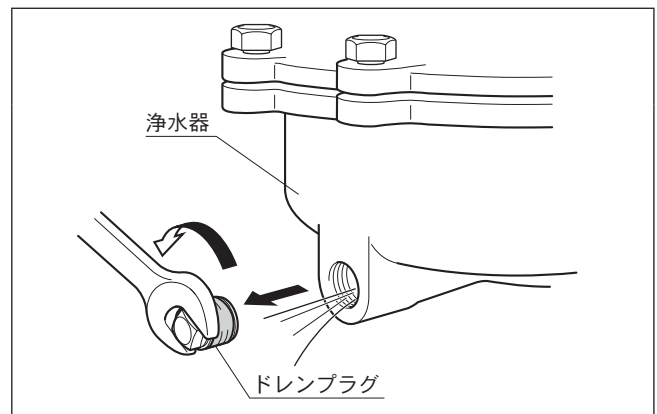


長時間ご使用にならない場合は必ず水を抜いてください。フィルタなどは通水後、長時間放置すると雑菌などが発生する恐れがあります。

排水のしかた

※給水ポンプの電源が切れていることを確認してください。

- 1 ドレンプラグを取り外して、浄水器内の溜まり水を排水します。
- 2 排水が終わったら、ドレンプラグを元のとおりに取り付けます。
※取り付け時は、シールテープなどのシール材をご使用ください。



点検

下記点検項目を随時点検し、必要に応じてお手入れおよび消耗部品（フィルタ）の交換を行なってください。

主な点検項目

項目	確認事項	備考
浄水器全体	外観	漏水などの異常が見られないこと
フィルタ（活性炭＋不織布・小）	外観	汚れが見られないこと
フィルタ（不織布・大）		

ご注意

本取扱説明書で示す注意事項は起こりうる全ての状態を表記しているものではありません。
ご使用される方や保守・点検を行う方は安全には十分な注意をお願いします。

フィルタの交換

フィルタ（活性炭＋不織布・小、不織布・大）は消耗部品です。定期的に新しいものと交換してください。
※浄水器の積算ろ過性能は原水の水質により大きく変わります。原水水質の悪化などを考慮してフィルタを余分に備蓄・保管されることをお勧めします。

※使用圧力、温度、水質、使用水量によりフィルタ交換時期が異なります。

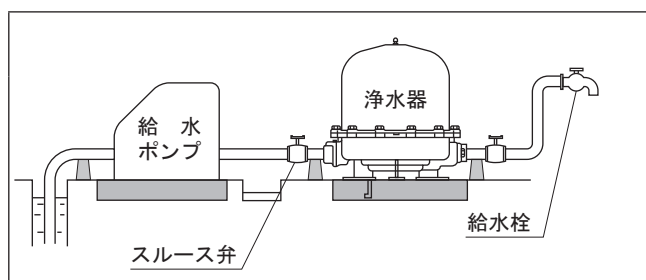
部品名	個数	交換時期	交換の目安
フィルタ(活性炭+不織布・小)	1	定期交換	・ 水洗いしても汚れや臭いが取れないとき （4本同時に交換してください。） ・ 定期水質検査により、処理水濃度が基準を満足しない場合
フィルタ(不織布・大)	1	定期交換	水洗いしても汚れが落ちないとき

※浄水器のフィルタは、下記セット品をお求めになることもできます。

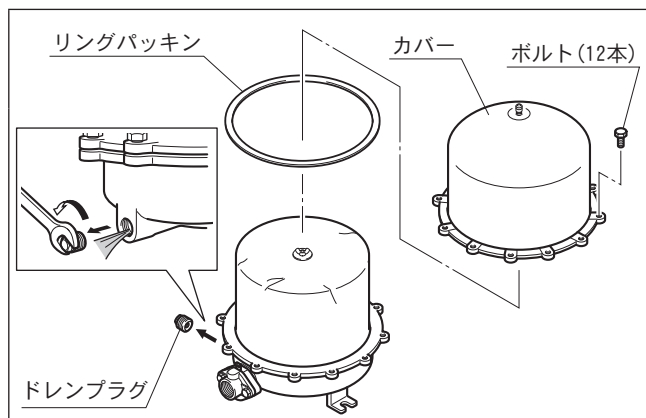
部品名	内容物
フィルタセット	フィルタ(活性炭+不織布・小):4本、フィルタ(不織布・大):1個

1 フィルタ交換のしかた

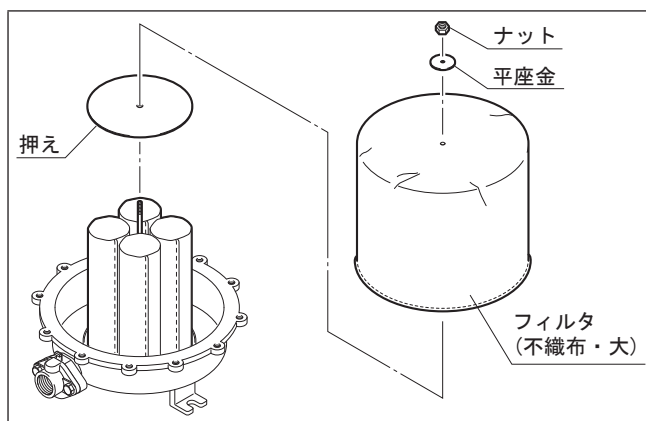
- 1 給水ポンプの電源を切ります。
- 2 スルース弁を閉じてから、給水栓を開いて浄水器内の圧力を下げます。



- 3 ドレンプラグを外し、浄水器内の水を排水します。
- 4 ボルト(12本)を外し、カバーを取り外します。
※リングパッキンとボルトは紛失しないよう保管してください。



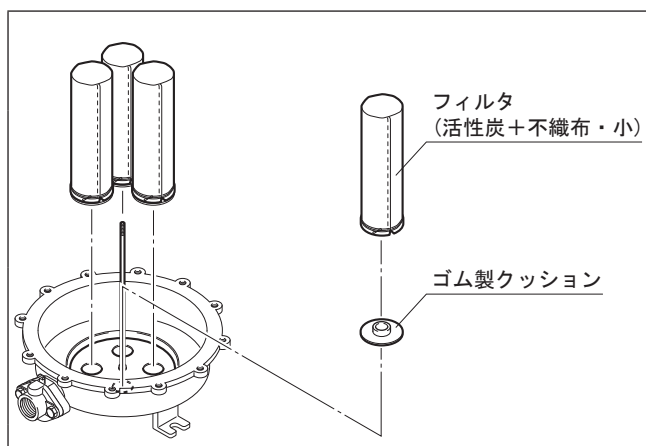
- 5** ナットを取り外し、平座金、フィルタ（不織布・大）、押えを取り出します。



- 6** フィルタ（活性炭＋不織布・小：4本）を抜き取ります。

- 7** ゴム製クッション（計4個）をフィルタ（活性炭）から取り外します。

- 8** 以下の指示に従って、フィルタの交換または洗浄を行ってください。



においがとれなくなった場合

- ①フィルタ（活性炭＋不織布・小）を4本とも交換してください。
- ②分解時と逆の手順（7→3）で、浄水器の組立てを行ってください。

水の出が悪い場合

- ①フィルタ（活性炭＋不織布・小：4本）、フィルタ（不織布・大）および洗浄器内部をよく水洗いしてください。

フィルタ（活性炭＋不織布・小）

水を含ませた後、手でもみ洗いして、付着した汚れを洗い落としてください。

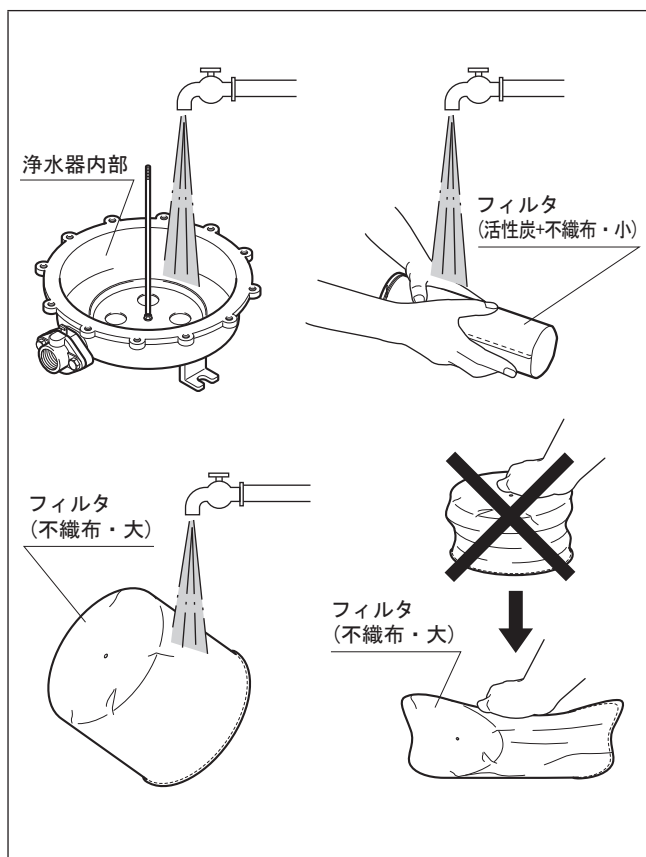
フィルタ（不織布・大）

水を含ませた後、手で押しつけるようにして水を切り、付着した汚れを洗い落としてください。

- ②分解時と逆の手順（7→3）で、浄水器の組立てを行ってください。

水の出が悪く、フィルタ（活性炭＋不織布・小）を水洗いしても改善されない場合

- ①フィルタ（不織布・大）を交換してください。
- ②分解時と逆の手順（5→3）で、浄水器の組立てを行ってください。



2 試運転

フィルタの交換を終えたら、浄水器の排気（P.8 参照）を行ってから浄水器を試運転してください。

故障かな？と思ったら

⚠警告



浄水器を接続した給水ポンプが動かなくなったり異常（ケーブル破れ、コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。

⚠注意



修理作業員以外の方は、絶対にフィルタ交換以外の分解・修理を行わないでください。故障の原因になります。

下表の点検項目を実施いただいた後も異常がある場合は、ご購入先もしくは弊社もよりの営業所にご連絡ください。

現象	原因	対策	参照ページ
水が出ない	スルース弁が閉まっている	スルース弁を完全に開く	8
	給水ポンプの電源が入っていない	電源を入れる	—
	フィルタが寿命	フィルタを交換する	10～11
水の出が悪くなった	除去した濁りによるフィルタの目詰まり	フィルタを洗浄または交換する	11
	フィルタが寿命	フィルタを交換する	10～11
	スルース弁が完全に開いていない	スルース弁を完全に開く	8
濁った水が出る	フィルタ用クッションの損傷または未装着	クッションを交換または装着する	10～11
	フィルタ固定用ナットが緩んでいる	ナットを確実にしめる	10～11
臭い、色が取れない	フィルタの除去能力低下	フィルタを交換する	10～11
	フィルタ用クッションの損傷または未装着	クッションを交換または装着する	10～11
	フィルタ固定用ナットが緩んでいる	ナットを確実にしめる	10～11
	処理流量が多い	50L/min 以内でご使用ください	—
気泡が流出する	浄水器内に空気が溜まっている	エアバルブを開いて完全に空気を抜く	8

故障には予想外なことがあります。異常を発見したら速やかに対策することが大切です。故障の原因が分からないときは、ご購入先もしくは弊社もよりの営業所にご連絡ください。ご連絡の際は、製品の形式、製造番号、故障（異常）の状況をお知らせください。

製品仕様

⚠注意



異常がある場合は、事故防止のため、すぐに使用を中止してご購入先もしくは弊社もよりの営業所に必ず点検・修理をご依頼ください。



定期的な水質検査の実施及びフィルタの交換を行ってください。水質が悪化していると、除去不良（フィルタ劣化を含む）となる恐れがあります。

名称		浄水器			
愛称		アクアファイン			
形式		MRK2-25			
設置場所		屋内、屋外(軒下) [上水道直結は不可]			
水源		井戸水			
周囲条件		周囲温度:0～40℃、湿度:90%RH以下			
液質	pH	5.8～8.6			
	固形物・濃度	含有砂量50mg/L以下			
	固形物・径	細砂0.3mm以下			
液温		0～40℃ (但し、凍結なきこと)			
最大ろ過流量		50L/min			
最高使用圧力		0.7MPa			
口径	吸込口径	25mm			
	吐出口径	25mm			
除去性能	遊離 残留塩素	ろ過流量	10 ～ 40L/min		40 ～ 50L/min
		除去性能	400mg/L・m ³		200mg/L・m ³
		フィルタ交換 時期の目安 *1	12 ヶ月		6 ヶ月
		(遊離残留塩素 2mg/L、1 日当たり 0.5m ³ 使用の場合)			
	濁り	除去成分	砂、粘土粒子等		
		粒子径	8 ± 2μm	5 ± 2μm	3 ± 2μm
		除去率	99%	90%	70%
		ろ過流量	10 ～ 50L/min		
		除去性能	300 度・m ³ (水洗再生後 250 度・m ³)		
ろ過材		抗菌処理成形活性炭			
逆流防止弁		内蔵			
外形寸法 (W×L×H)		355 × 336 × 361 mm			
製品質量		15.4 (満水時 26) kg			

PFOS 及び PFOA の除去について、浄水器協会の除去性能等試験方法による規格基準 JWPAS B.210 試験結果 (除去率 ≥ 80%) をもとにした、フィルタ交換時期の目安。

PFOS 及び PFOA (50ng/L)	ろ過流量	8L/min	20L/min	50L/min
	総ろ過水量	216m ³	180m ³	140m ³
	フィルタ交換時期の目安 *1	12 ヶ月	9 ヶ月	7 ヶ月

(1 日当たり 0.5m³ 使用の場合)

*1 : 使用水量、水質によっては交換時期の目安が短くなることがあります。

×毛



コンフォート アース

Comfort Earth 水を通して 地球環境を 考える

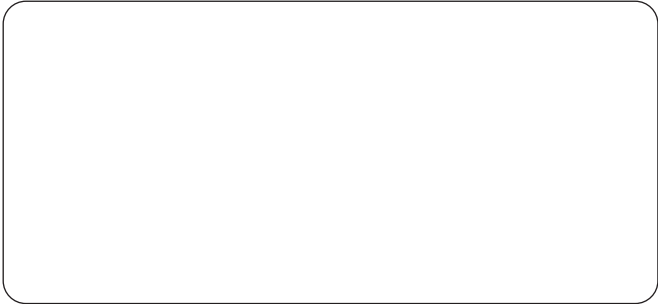
株式会社 川本製作所 <https://www.kawamoto.co.jp>

本 社 〒 460-0011 名古屋市中区大須4-11-39

TEL <052>251-7171 (代)

岡崎工場 〒 444-8530 岡崎市橋目町御領田1

TEL <0564>31-4191 (代)



検査合格証
株式会社 川本製作所

検
査

検査
責任者